

<めざす子どもの姿> 【自立の根っこづくり】

3つの宝をもって丸子中央小学校を卒業できる子ども

1) 自律した自分 【自主】

興味・関心のあることに取り組み、学習したことを活用できる子ども

2) 協働できる仲間 【協働】

互いのよさや違いを認め合い、考えを交流しながら、心や体を働かせて友達と共に学ぶ子ども

3) ふるさと丸子 【創造】

地域の文化や人を知り、未来に向かって地域を大切にできる子ども

<上田市教育大綱>

「燦と輝く上田の未来を紡ぐ人づくり」

子どもたちの将来の礎となる「豊かな心と生きる力」を育みます

<保護者・地域の願い>

- ・友達や先生と仲良く生活し、楽しく学校へ通ってほしい
- ・学んだことを身に付け、確かな学力を高めてほしい
- ・友達、先生、地域の方に自分から元気にあいさつしてほしい
- ・丸子地域の自然、歴史、文化、産業などを学び、ふるさとのよさを知ってほしい

【学校教育目標】 **かしこく やさしく ひたむきに**

【本年度の重点目標】 **「一人になれる 一つになれる」**

『明日を創る子どもが育つ  
笑顔かがやく楽しい学校』

具体的な取組

考え合う楽しさ（共学の推進）  
（主体的な学び「創造」）

（温かい）プラスの言葉・行動  
（思いやりの心「協働」）

やり続ける粘り強さ  
（強靱な実行力「自主」）

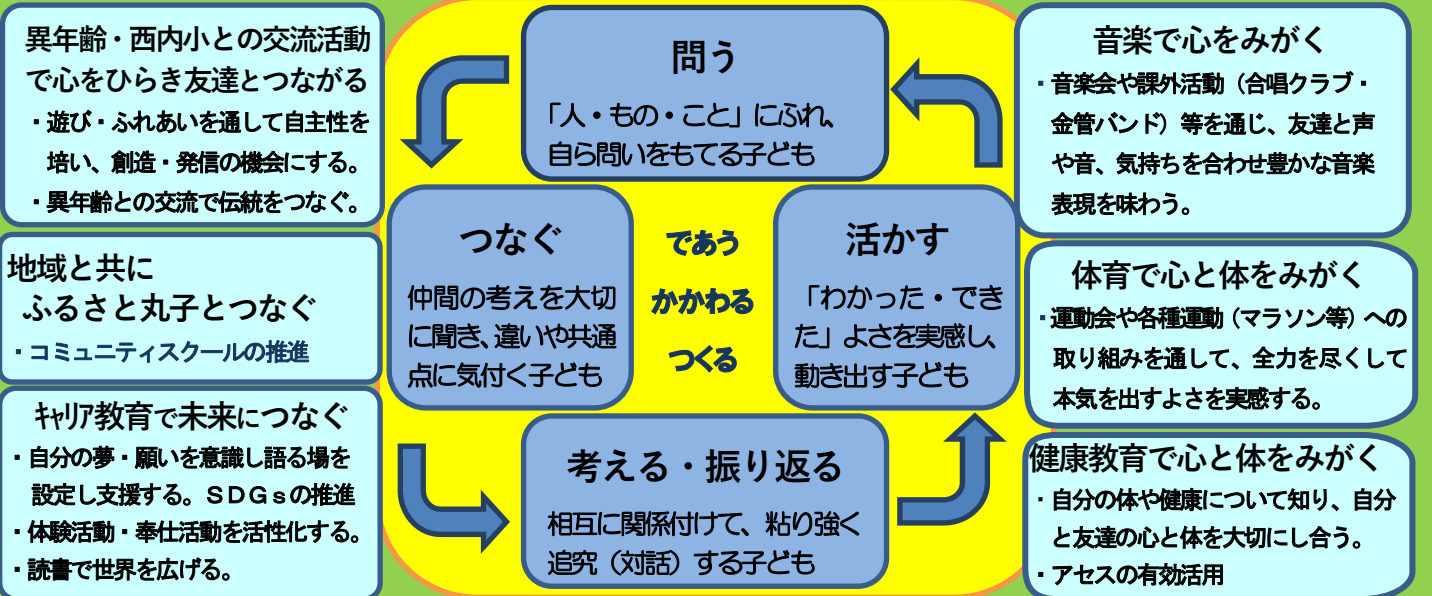
○ 多様性を包み込み、「具体的・視覚的・肯定的支援」を視点に「授業のユニバーサルデザイン」の実現

- 子どもの興味をもとに、地域を題材とした探究的な学びの充実。
- ペア・グループ学習を取り入れる等多様な学び方の工夫。
- 「問い」を大切にして、授業の流れが分かるノート（板書）づくり

- 楽しくけじめある学校生活づくりに向けて、「笑顔の挨拶・返事・靴そろえ・腰骨を立てる」を習慣化。
- 交流活動を充実して、子ども同士が学び、温かい言葉をかけ合いながら、自己肯定（有用）感の向上。

- 「体みがき」「わくわくマラソン」等の運動を根気強く継続して取り組める活動の充実。
- 児童会活動と連携し、清掃や奉仕活動、係活動等を通して、役割を担うことの大切さや労働に対する意識の醸成。

西内小との統合に向けた交流キャッチフレーズ 『笑顔でつなげよう 両校の思いを未来へ』  
交流コンセプト「お互いの学校文化を知り合い、両校の思いを未来につなぐ笑顔の交流」



人権同和教育で心のみがく（全教育活動の基盤）9年間の見通しをもって  
 ・相手の気持ちに寄り添い、思いやりの心をもって接することのできる子どもの育成のために、系統立てた人権同和教育を実施する。  
 ・間違っていることに勇気をもって立ち向かい、自ら行動できる子どもの育成のために、教師自身が人権感覚を磨き、信頼関係を結んでいく。

<授業づくりの研究テーマ（全校研究テーマ）>

子ども自らが考え合う楽しさを感じる授業づくり  
 ～ 視覚的・具体的・肯定的支援を通して ～

重点研究

願いと必要感を持った研修・研究

- 授業を見合いながら、対話を通して互いに高める。
- 各自の強みを生かし「チーム中央小」として支え合い、語り合い学び続ける職員会〔創造のサイクルづくり〕